

【教育目標】

【知】自ら学び、考え、進んで行動する人

【徳】互いを尊重し、協力する人

【体】心身ともにたくましく健康な人

杉並区立中瀬中学校

下井草4-3-29 TEL 3399-2196

「49%と51%」

校長 香西雅斗

先日の台風で、科学と自然の散歩みちの木が倒れ、金木犀のオレンジの花もすっかり散ってしまいました。中瀬中でも玄関わきのシュロの木が根元から折れ、プールの奥東側フェンスがはがれてしまうなど、自然の猛威をひしひしと感じさせられました。

さて表題の「49%と51%」ですが、これは人間の中の“頑張ったり成長に向かう心（仮に強い心と呼びます）”と、“怠けたり破壊に向かう心（仮に弱い心）”の割合です。どちらが49%かではなく、人は両方の心をもっていて、わずかの差しか無いことを表しています。

公園の遊具の落書きを見て、面白がって自分も落書きをした生徒がいたとします。いけないと分かっている面白がる“弱い心”に引きずられたわけです。やってはいけないことをしたら、叱られるのは当然です。面白がって得た“快”は、それに見合う“不快”で相殺されるわけです。（注：見合う以上に叱られたと感じると、反発だけになってしまいがちです。）

でも叱られるだけでは、人は成長の方向に向かいません。人間は、未来のことより目の前の“快”や“利益”に引きずられやすい。だから「そんなことをしていたら、罰せられて、将来大変な事になるぞ。」と言われても「見つからなければいいじゃない。」となりやすいのです。肝心なのは“反省”です。（注：「悪い事をしました。すみません。二度としません。」などと書かせたり言わせたりするのは“反省”ではありません。）

自分のした事を見つめ、その良し悪し、なぜそれをしたのか、何がまずかった（良かった）のかなど、自分の行動や欲求・考えについて熟考することで、人は前進します。しかし、大人でも簡単ではない“反省”を、子供が自分だけするのは容易ではありません。教員をはじめ周囲の大人の役目は、子供たちが勇気を出して強い心と握手し、強い心が51%になるよう、揺れ動く子供たちを支え、自分自身に向き合えるよう導くことだと思います。

例えば、自分を見つめるきっかけとして「落書きをしたのは、幼い子かもしれない。君たちは幼い子と同じレベルでいいの?」「もし全く落書きがなかったら、そこに書いた?」などと問いかけます。そして、のりや勢いに引きずられ「やって良いのか、悪いのか。」「やるべきなのか、やめるべきなのか。」「自分にふさわしいことなのか。」（どれも“快・不快”や“損・得”より高い価値）について、考え判断していなかったことに、子供自身に気づかせます。

スポーツ選手に限らず一流の人は、気分や周囲に流されて物事を決めることはしません。子供が、一流の人の姿を自分のロールモデル（具体的な行動や考え方の模範となる人物）として目指し、より高い価値で自分を律せるようになるためには、子供が失敗した時がチャンスです。

（注：学校から保護者に失敗の事実だけを伝えたり「困るんですね」と言うだけでは、誤解を招きます。子供を導く方向と、失敗を教員と保護者でチャンスとしたい、という意味を示すことが必要です）

中瀬中は、子供たちが勇気を出して強い心と握手し、自分で人生を切り拓いていける学校になるよう、地域・保護者の皆様と歩を進めていきます。よろしく願いいたします。

中瀬国際交流 Day

9月29日(土)に29名の外国人留学生をゲストに招き国際理解教育の授業を行いました。留学生の出身国は

アメリカ・インド・インドネシア・韓国・キルギスタン・ケニア・スペイン・タイ・台湾・中国・ブラジル・マレーシア・ミクロネシア・ミャンマー・モンゴル

です。



<29名の留学生が並んで挨拶>



<ケニアのキングスマンさん、タイのサンさんのグループでまずは自己紹介>

最初にファシリテータの米元さん(アクティブラーナーズ)から

中瀬中学生と外国人ゲストとのコミュニケーションを通して

「いろいろな文化の違いを知る!(Cultural Differences)」

「おもてなし(Hospitality)の気持ちでコミュニケーションをとることができるようになろう!」

という今日のゴールが示され、

「間違いを楽しみながらたくさん会話しよう!」「英語を使うときは、一言でも伝えてみよう! しっかり聞いてみよう!」

「質問は1つで終わらず掘り下げたり広げたりしよう!」「あなたの話をきいてますというサインを丁寧に~表情、体の向き、リアクション!」という呼びかけがされました。

生徒たちは学年が混ざり合った5~6人グループに分かれ、1~2名の留学生を迎え、まず「ハイタッチ自己紹介」「世界の言葉のクイズ」を通して『アイスブレイク』を行い、『Q&A in English』では、生徒と留学生が、できるだけ英語を使って質問し答えながら話をしました。

生徒たちは、留学生が上手に日本語を話すことに驚き、また英語で詰まった時に助けてくれたり、「日本語でもいいよ」と声をかけてくれたことに、とても安心したようです。



<ミャンマーのシュさんのグループ>

をかけてくれたことに、とても安心したようです。

留学生の多くは国費留学、つまり国の代表という思いで日本に来ています。半年の留学で、ほとんどの留学生が日本語検定2級(日本の大学生レベル)に合格するという話もうなずけます。

最後は『外国人ゲスト紹介カードを作ろう』のコーナー。生徒たちは留学生と話をしながら、ゲストの方のこと、出身国のことなどをレポートにまとめました。



<スペインのマリアさんのグループ>

留学生の方たちは、中学生の生徒を決して子ども扱いせず、お互いに一人の人間として、真剣に相手のことを知ろう、日本のことを学ぼうとしていました。その真摯な姿勢は、生徒たちの心を開き、楽しく価値の高い時間となりました。

「相手を知ろう、相手に伝えよう」「教養と知識、考える習慣」

「英語を学び、英語を活かす」など様々なことが体験できた実りの多い交流であったと思います。



<今年は給食も一緒に食べました>

一年生の振り返り～二・三年生は次号で～

— A
外国の文化と日本の文化の違いが良く分かった。また留学生の人達はいろいろな目標や夢があって日本に留学しに来ていた。英語を使って会話をするのは難しかったけど、とても楽しかった。
【台湾 ハナさん】

— A
何を話したら良いか考えたりして緊張しました。でも先輩たちと色々な質問をしながら、楽しい時間を過ごす事ができました。
マリアさんが日本語を勉強するように、自分も英語を頑張ろうと思えます。
【スペイン マリアさん】

— A
英語はほとんど毎日練習しているけれど、外国の方と話す機会はあまりなく、とても楽しかった。改めて、英語は世界共通語なので大切だと思いました。
【ブラジル エリックさん】

— A
ハナさんの好きな食べ物とか、自分の聞きたいことを英語で話すのは少し難しかったです。でも気持ちが伝わったので、とてもうれしかったです。来年は英語だけでできるようにしてまた会いたい。
【台湾 ハナさん】

— A
違う国の人とでも、仲良くなれるんだと実感する事ができました。他の国の言葉に触れる事ができたので、とても楽しかったし、良い経験になった。
【マレーシア ケケさん】



<アメリカ ガブさんのグループ>

— B
僕は全然英語がしゃべれなかったけれど、ガブさんがサポートしてくれてうれしかった。英語でたくさん話している人を見て、自分も英語の勉強をがんばり、様々な国の伝統を知りたいと思った。
【アメリカ ガブさん】

— B
英語のやり取りで、リキタさんが日本の食事や映画が好きだと知り、その中に自分の好きなものがあったので、本当に近く感じました。
【インド リキタさん】

— A
なかなか無い体験で楽しかったけれど、質問に答えられる幅も、質問できる幅も広くなって、コミュニケーションをとるのが難しかった。でも、先輩たちもたくさんフォローしてくれて楽しい時間を過ごせました。先輩たちに憧れました。
【マニマー シュさん】

— B
ゲストの方が入ってきた時、感動しました。戦争などがあったのに、これだけの人が来てくれたんだ、この状態を僕たちが続けなければ、と思いました。
【台湾 リンさん】

— B
台湾のことがたくさん分かり楽しかった。話すことはあまり得意ではないけれど、自分の殻が破れたような気がします。
【台湾 サイさん】

— C
外国の人と向き合ってコミュニケーションするのは初めてでしたが、話しかけやすく、分からない英語を教えてくださいました。来年はもっとレベルを上げたい。
【タイ チョンプーさん】

— C
台湾の文化や自分の国の事を英語で話せて、とても楽しかった。どうなるかと思っていたけど楽しい時間を過ごせた。
【台湾 サイさん】

— D
自己紹介や、その人の国の言葉で質問したりすれば、一気に距離が縮まると思った。英語で話す事は難しく、間違えたらどうしようと思っていたが、いくらだって間違えていい事を改めて分かった。
【中国 ユメコさん】

— D
留学生の方から、母国の文化の紹介と一緒に、悲しかった事、楽しかった事など、これまで乗り越えてこなければならなかった事を聞いて、面白かったし、共感した。後、日本語がとても上手だった。
【ケニア キングスマンさん】

— D
いきなり英語で話すとなると、言葉が詰まったり、頭に浮かんでこなかったりだった。私は日本人としか話した事がなく緊張したけど、エイコさんは笑顔でうなずいてくれてとても嬉しかった。
【ミクロネシア エイコさん】

— D
インタビューを通して、好きな事や文化など様々なことが分かりました。特に良かったのは英語を使うということです。まだ簡単な文しか使えませんが、実際に使おうとしたのは初めてです。貴重な体験でした。
【台湾 アオイさん】

— C
英語が分からなかった時、三年生が助けてくれた。先輩後輩関係なく優しくとても楽しかった。
【インドネシア ナディラさん】

— C
色々な人と話せ、普段あまり話さない様なことも話せた。英語も、普段怖くて使えなかったが、今回人と話すことができた。
【韓国 キムさん】

— C
他の国の方と話すってこんなに楽しいんだ！と思いました。日本人はあまりしゃべらない人が多いので、もっと様々な国の方々と交流して、たくさん気づきや学び、楽しみを得てみたい。あと、英語を使ってみる楽しさ、面白さを知ることができました。
【インドネシア エリカさん】

中瀬フェスタでフードドライブに取り組みます

10月20日(土)の午後1時半から3時半まで、中瀬中学校の体育館を中心に、毎年恒例の中瀬フェスタが行われます。(学校行事ではなく、地域と中瀬中学校生徒が協働して行う取組です)

吹奏楽部演奏のオープニングに始まり、英語部や学校支援本部のぼいす隊マムの発表、焼きそばなどのフードコーナー、北塩原村の物産展やフリーマーケット、制服のリサイクルなどが行われます。

また毎年、生徒のビオトープ委員会による中瀬中の生き物の展示と説明が行われていますが、今年は新たに中瀬中で取り組んできた環境学習と夏休みの環境チェックシートの取組を受け、ビオトープ委員会が杉並区のゴミ減量対策課とコラボして『フードドライブ』を担当します。

詳細についてはすでに各家庭、地域にプリントが配られています。

○寄付していただきたい食品(少量でもOK)は

お米(精米2年以内)、乾麺などの乾物、缶詰レトルトインスタント食品、粉物、調味料、菓子、飲料(アルコール×)など
ただし、賞味期限が1か月を切っている物、開封されている物、冷凍冷蔵が必要なもの、製造者などの商品説明が不明確な物は、受付できません。

○受付場所は、ビオトープ委員会の展示の横です。



**保護者・地域の皆様のご協力
よろしくお祈いします!**

10~11月の予定							⑤...スクールカウンセラー出勤予定日
日	月	火	水	木	金	土	
14	朝礼 15	⑤16	避難訓練 17	18	19	20	
	音楽発表会 準備期間始			理科出前授業(3)	生徒総会⑥	中瀬フェスタ 13:30~15:30	
21	22	⑤23	職員会議 24	25	26	27	
	リハーサル(2)③④		リハーサル(1)①②	リハーサル(3)③④			
28	29	⑤30	31	11/1	2	3	
	音楽発表会		SO講演⑤(1)				
4	生徒朝礼 5	⑤6	7	8	9	10	
	3年進路面談始		PTA懇談会(1)	領域別行事外(3)	3年進路面談終		
11	朝礼 12	⑤13	14	避難訓練 15	16	17	
			茶道体験(2)		SO体験⑤⑥(1)	SO体験(1)	

生徒会役員選挙

9月14日(金)の6時間目に行われた生徒会役員選挙は、会長に二人、1年生の副会長、書記、評議員にそれぞれ二人ずつが立候補し、これからの中瀬中のビジョンを発表しました。



三年生のバトンをしっかり受け止めようという真剣な思いと気合が生徒や体育館で参観している保護者に伝わってきました。

投票は、区の選挙管理委員会から借りた、記載台と投票箱を使い行われました。

